

赤潮注意報

平成24年(2012年)7月5日
山口県水産振興課

漁業者の皆さんへ

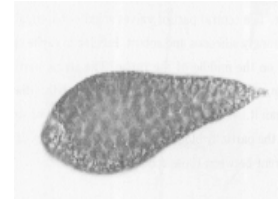
下関市瀬戸内海側沖合から宇部市沖合海域で シャットネラ アンティカ が発生しています!

発 生 日: 平成24年7月4日(水)

発 生 海 域: 下関市瀬戸内海側沖合から宇部市沖合

赤 潮 構 成 種: シャットネラ アンティカ (*Chattonella antiqua*)
…好適水温 23~26°C、好適塩分 20~30psu

着色海域の色: 黒褐色



「日本の赤潮生物」より
大きさ 50~130 μm × 30~50 μm

確認発生密度:

観測場所	細胞数	備考
下関市沖合(Y1)	61 個/cc	7月4日 23.7°C
山陽小野田市沖合 (Y2)	11 個/cc	7月4日 23.7°C
山陽小野田市沖合 (Y3)	7 個/cc	7月4日 23.3°C
山陽小野田市沖合 (Y4)	3 個/cc	7月4日 23.2°C
宇部市沖(F2)	5 個/cc	7月4日 23.0°C

■本種の赤潮では、以下の濃度が目安となっています。

●赤潮注意報密度 10 個/cc ●赤潮警報密度(魚類へい死目安) 100 個/cc

今後の気象条件によっては、広い海域で赤潮が発生する恐れがありますので、以下の点に留意され、特に蓄養魚・養殖魚の取扱いに十分注意し、漁業被害の防止に努めてください。

なお、県としましては、引き続き調査を実施して参りますので、情報の提供などご協力のほどよろしくお願いいたします。

- 1 このプランクトンは、低濃度(海水が着色しない状態)でも魚類やエビ類に有害なプランクトンであり、日中は表層に、夜間は中層に滞留して、上下動を繰り返します。水色や漁模様の急変など、海域監視の強化に努めてください。
- 2 漁港内での蓄養は避けて、活けメ出荷等の対策を講じてください。
- 3 養殖魚等の場合は、より深い生け簀の活用を図り、赤潮発生時には魚の代謝を抑えるために餌止めをし、早期出荷などの対策も検討してください。
- 4 赤潮の発生が確認された場合は、漁協を通じて関係市・水産事務所へすみやかに通報してください。

* 県内の赤潮情報については、海鳴りネットワークのホームページでもご覧いただけます。
以下のアドレスにパソコンからアクセスして下さい。

→ <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/gyosei/suisan-s/uminari/9/index.htm>

赤潮注意報(第1報)に係る赤潮原因プランクトン観測場所

